



ボランティア実習 ハンドブック

関西外国語大学

関西外国語大学短期大学部

教務部 編集

クラス		学籍番号		氏名	
-----	--	------	--	----	--

【目次】

1. 心構えと注意事項・・・・・・・・・・・・・・・・ P.3

2. ボランティア活動の情報収集・・・・・・・・ P.4

3. ボランティア実習の単位認定基準・・・・・・・・ P.4

4. ボランティア実習登録から単位認定までの流れ・・・ P.6

5. 保険の加入について・・・・・・・・ P.8

その他

- ・お礼状の書き方（サンプル）

1. 心構えと注意事項

目的と意義

ボランティアとは、自主的に報酬を得ることなくさまざまな場面で人々の役に立つ活動を行うことをいいます。いろいろな人々との交流や地域へ貢献できるボランティア活動を通して得られる学びは、他では得られない貴重な財産になります。

ボランティア活動を始める前に

本学では、学生個人の善意による無償の社会奉仕活動を大切にしています。しかし、残念なことに最近「ボランティアしてあげている」というような意識で活動をする学生も増えているようです。それはボランティア精神に反するものであり、ボランティア活動を行う際には、ボランティア本来の意味をよく考え、自覚を持った行動を心がけてください。また、本学の学生の代表であると同時に、実習先の一員であるという意識を常に持っていてください。

- ・実習先について知る ◆活動内容などを事前にインターネット等で調べる。
◆日程、時間、服装、持ち物、交通機関などの基本事項について調べておく。
※実習先の電話番号・担当責任者の氏名、手帳や携帯電話に必ずメモを取ってください。
- ・実習先に依頼する ◆正装（スーツ）で実習先へ依頼に行く。
※実習期間中の服装については、実習先の指示に従ってください。

実習中の注意事項

- ・マナーについて ◆時間を守り、遅刻・無断欠席等は絶対しない。病気及び緊急の用件等で欠席する場合は、必ず実習先の担当者に電話で連絡を取る。
※遅刻・無断欠席の場合は実習を中止とし、単位認定の対象外とします。
◆言葉遣い、髪型、服装などTPOをわきまえる。
Time（時間）・Place（場所）・Occasion（場合）
◆公共の交通手段を使用する。
◆携帯電話の電源は必ず切る。
◆実習先では、担当者およびスタッフの指示に従う。
- ・守秘義務について ◆ボランティア活動中、業務を遂行するにあたり知り得た情報を社外に漏さない。（例）実習場所での無許可写真撮影、個人データの持ち込み・持ち出し

実習終了後の注意事項

実習終了後には、必ず実習先へお礼状を出しましょう。お礼状の書き方については後述のサンプルを参考にしてください。

2. ボランティア活動の情報収集

ボランティアに関連する情報は各自でインターネットや情報誌を通して探すことになります。各種団体が紹介（各自で探したのものも含む）するボランティアで、無償で行うものに限ります。

3. ボランティア実習の単位認定基準

【英語キャリア学部】

2016年度以前入学生

実習時間数	単位数	科目名
60時間以上120時間未満	2	総合実習C《1科目》
120時間以上	4	総合実習C・D《2科目》

2017年度以降入学生

実習時間数	単位数	科目名
30時間以上60時間未満	1	総合実習J《1科目》
60時間以上120時間未満	2	総合実習F《1科目》
120時間以上180時間未満	4	総合実習F・G《2科目》
180時間以上240時間未満	6	総合実習F～H《3科目》
240時間以上	8	総合実習F～I《4科目》

【外国語学部】

2016年度以前入学生

実習時間数	単位数	科目名
60時間以上120時間未満	2	総合実習E《1科目》
120時間以上180時間未満	4	総合実習E・F《2科目》
180時間以上240時間未満	6	総合実習E～G《3科目》
240時間以上	8	総合実習E～H《4科目》

2017年度以降入学生

実習時間数	単位数	科目名
30時間以上60時間未満	1	総合実習J《1科目》
60時間以上120時間未満	2	総合実習F《1科目》
120時間以上180時間未満	4	総合実習F・G《2科目》
180時間以上240時間未満	6	総合実習F～H《3科目》
240時間以上	8	総合実習F～I《4科目》

【英語国際学部】

2017年度以前入学者

実習時間数	単位数	科目名
60時間以上120時間未満	2	ボランティアA《1科目》
120時間以上180時間未満	4	ボランティアB《1科目》
180時間以上	6	ボランティアA・B《2科目》

2018年度以降入学者

実習時間数	単位数	科目名
30時間以上60時間未満	1	総合実習J《1科目》
60時間以上120時間未満	2	総合実習F《1科目》
120時間以上180時間未満	4	総合実習F・G《2科目》
180時間以上240時間未満	6	総合実習F～H《3科目》
240時間以上	8	総合実習F～I《4科目》

【短期大学部】

2016年度以前入学生

実習時間数	単位数	科目名
60時間以上120時間未満	2	ボランティア実習A《1科目》
120時間以上180時間未満	4	ボランティア実習A・B《2科目》
180時間以上240時間未満	6	ボランティア実習A～C《3科目》
240時間以上	8	ボランティア実習A～D《4科目》

2017年度以降入学生

実習時間数	単位数	科目名
30時間以上60時間未満	1	ボランティア実習E《1科目》
60時間以上120時間未満	2	ボランティア実習A《1科目》
120時間以上180時間未満	4	ボランティア実習A・B《2科目》
180時間以上240時間未満	6	ボランティア実習A～C《3科目》
240時間以上	8	ボランティア実習A～D《4科目》

4. ボランティア実習登録から単位認定までの流れ

実習前の手続き

実習開始の1か月前までに以下の所定の書類を教務部に提出し、教務委員会の許可を得なければなりません。教務委員会は実習期間や活動内容等を精査し「単位認定の対象」可否判定を行います。

- 【提出書類】
- 1) 実習計画書・受入承諾書
 - 2) 決定通知書（海外ボランティアのみ）
 - 3) 募集要項・実習先ホームページ等の活動内容のわかる資料
 - 4) 誓約書

- ◆当該科目の単位修得のいかんに関わらず、授業科目のみで進級または卒業要件を充足できることが条件となります。
- ◆実習活動は、授業時間および学期末試験期間等と重ならない時間帯に行ってください。
- ◆受入承諾書には実習先より署名捺印を受けてください。（国内ボランティアのみ）
- ◆事前申込および教務委員会の許可がなければ、単位認定の対象外となります。

実習許可後の手続き

教務委員会から許可を得た後、教務部にて以下の書類を受け取ってください。

- 【配付資料】
- 1) 実習報告書・日報記入の際の注意事項
 - 2) 実習報告書
 - 3) 実習日報・活動証明書（海外ボランティアは英文）
 - 4) 学研災害付帯賠償責任保険のあんない（国内ボランティアのみ）

- ◆配付資料を受け取り後、保険に加入することになります。保険の詳細および加入方法は『5.保険の加入について』を参照してください。

実習中の手続き

実習中は以下の事項に留意してください。

- ◆ボランティア実習日報（所定用紙）を記入して、現場責任者に署名と印鑑をもらう。
 - ◆自分が写っている写真を撮る。（海外ボランティアのみ）
 - ◆現場責任者にボランティア活動証明書を記入してもらう。
 - ◆ボランティア実習報告書を作成する。
 - ◆海外ボランティアの場合、実習日報は英語で記入する。
- ※実習日報・報告書・活動証明書の記入方法の詳細については、実習許可後に配付する「ボランティア実習報告書・日報記入の際の注意事項」を参考にしてください。

実習後の手続き

◆実習終了後1週間以内に以下の書類を教務部に提出してください。

- 【提出書類】
- 1) 実習日報
 - 2) 実習報告書
 - 3) 活動証明書
 - 4) 活動写真（海外ボランティアのみ）

◆提出した書類は、返却しませんので、必要な場合は、各自コピーを保管しておいてください。

◆学期中に行うボランティアについては、当該学期の授業終了日までに教務部へ提出してください。

◆実習終了後は、必ず実習先にお礼の手紙を送りましょう。お礼状の書き方は後述のサンプルを参考にしてください。

単位の認定について（注意事項）

◆当該学期の授業終了日までに、単位認定に必要な報告書等の書類を教務部まで提出する場合に限りま
す。

◆各学期間で所定の実習時間数を充足できない場合は、次学期以降において行う実習時間を加算することができます。希望者は、各学期終了までに実習継続願（所定用紙）を教務部へ提出し、教務委員会の許可を得なければなりません。この場合、活動内容を変更しても構いません。

◆実習時間数、学生本人からの報告書、実習先からの報告書等をもとに教務委員会が判定し、教授会において 単位認定を行います。単位認定の基準については、「3.ボランティア実習の単位認定基準」を参照してください。

◆春期休暇中に実施した実習については、次年度春学期の認定科目として取り扱います。したがって、4年次（短大生は2年次）学年末の春期休暇中に実施した実習の単位認定は行いません。

◆夏期休暇中に実施した実習については、当該年度秋学期の認定科目として取り扱います。したがって、8月卒業予定者の単位認定は行いません。

5. 保険の加入について

ボランティア実習を行うにあたり、大学指定の保険に加入することになります。以下の保険の概要は各種保険の手引より抜粋しています。活動中に、万一の事故が起きた際は、速やかに教務部・学生部まで報告してください。

◆学生教育研究災害傷害保険◆ (通学中等傷害危険担保特約有りのコース)	
内容	本人が身体に傷害を被った場合等に対応
保険料	全学生から入学時に徴収
保険期間	入学してから4年間または2年間
保険金	<ul style="list-style-type: none"> ・死亡保険金（最高：2,000万円） ・後遺障がい保険金（最高：3,000万円） ・医療保険金（最高：30万円） } 特定の約款を満たす場合のみ適用

入学時に加入済

◆学研災付帯賠償責任保険◆ (インターンシップ・教職資格活動等賠償責任保険Bコース)	
内容	他人にケガまたは他人の財物を損壊した場合等に対応
保険料	ボランティア登録時に保険加入料として徴収（210円）
保険期間	4月1日～翌年3月31日（1年間）保険期間中に解約しても保険料の払戻しなし
保険金	<ul style="list-style-type: none"> ・施設・生産物・受託者賠償責任保険で支払われる保険金 （損害賠償金に伴う治療費、慰謝料、修理費等）

国内ボランティアを行う際に加入

上記保険の他に、学生総合保障制度（こども総合保険）があります。事故の内容によっては大学指定の保険では補償の対象とならないケースがありますので、突然の事故に備えるためにも任意保険の加入を推奨します。詳細は厚生北館2階コンビニ内（株）アーク・スリー・インターナショナルにて確認してください。

◇保険の加入について◇

I・国内ボランティア

学研災付帯賠償責任保険（学研賠）に加入してください。

申し込み方法：自動発行機にて「各種申込書」→「ボランティア保険」

【注意事項】①当該年度にインターンシップ、教育実習等ですでに学研賠に加入していれば、申し込む必要はありません。該当者はボランティア実習計画書・受け入れ承諾書を提出時に教務部へ申し出てください。

②保険加入手続きは、実習計画書が教務委員会で許可が下りた後に行います。

※教務委員会より許可が下りる前に手続きを行わないでください。

II・海外ボランティア

海外旅行傷害保険に加入してください。（実習先より保険加入の指定がある場合は申し込み不要）申し込み方法等の詳細は、厚生北館2階コンビニ内（株）アーク・スリー・インターナショナルにて確認してください。

【お礼状の書き方（サンプル）】

株式会社*****（*****法人）

***課 ***様

拝啓 □□の候、貴社益々ご隆盛のこととお慶び申し上げます。

先日は、ボランティア実習において、お忙しいなかにもかかわらず、ご指導いただき、誠にありがとうございました。

～実習で学んだこと、感想などをここに述べる～

今後は、この貴重な体験を活かし、責任と自覚を持って日々精進してまいりたいと存じます。

今後とも、よろしくご指導くださいますよう、お願い申し上げます。

末筆ではございますが、貴社（貴法人）の益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。

まずは書中をもちまして御礼申し上げます。

敬具

〇〇〇〇年〇〇月〇〇日

関西外国語大学
〇〇学部〇〇学科
(氏名)

時候の語句例（□□の候）

1月：厳冬	2月：晩冬	3月：早春	4月：春暖
5月：新緑	6月：初夏	7月：盛夏	8月：残暑
9月：初秋	10月：秋冷	11月：晩秋	12月：初春

※誤字脱字のないよう気をつけ、丁寧な字で書くこと。